

赤字の要因となる家族医療費の増嵩は下記のとおりである。

1 互助会家族医療費1件単価と件数の増加

年度	家族医療費 千円	件数 件	1件当り単価 円	対36年度指数	
				単価の指数	件数の指数
36	79,160	147,672	536	100	100
37	95,516	157,180	608	113.4	106.4
38	114,496	162,532	704	131.3	110.0
39	143,081	179,933	796	148.5	121.8

したがって家族医療費の単価および件数の増加率

1件単価の増加率 1.161
 件数の増加率 1.073 } 1.245となる。

2 増嵩の原因のうち制度の改正は下記のとおりである

昭和36年度以降の診療報酬の改正

	増加率	診療報酬点数表の改正
36年7月	12.5%	診療行為の一率点数引上げ 入院料, 往診料, 調剤料等の引上げ
36年12月	2.3%	診療料による平均衡是正と若干の 点数引上げ
38年1月	1%	療養給付期間の延長
38年9月	8%	診療報酬の地域差撤廃
40年1月	9.5%	診療報酬の緊急是正

薬剤範囲の拡大による注射薬剤の大量使用

(イ) 診療単価の上昇

過去3年間48.5%の激増を示し年間平均16.1%増加となっている。

(ロ) 受診件数の上昇

過去3年間21.8%の増加で年間平均7.3%増加となっている。

昭和39年度退職者の互助会掛金および退職給付金調

年齢	年度	会員 年数	昇給年月日	掛金の基礎となる給与額			掛金率	掛金額	掛金累計 (A)	退職給付額(B)		掛金に 対する B/A %
				俸給	扶 手	養 当 計				給 付 日 数	給付額	
46	28	1	28.4.1	26,500	1,200	27,700	1/100	3,495	3,495	3	3,060	87.6
			28.7.1	27,300	1,200	28,500						
			29.1.1	30,600	1,200	31,800						
47	29	2	29.4.1	31,700	1,200	32,900	//	3,948	7,443	6	6,340	85.2
48	30	3	30.7.1	32,800	1,200	34,000	1/100	4,472	11,915	9	9,840	82.6
			30.11.1	32,800	1,200	34,000	1.25/100					
49	31	4	31.10.1	33,900	1,200	35,100	//	5,178	17,093	12	13,560	79.3
50	32	5	32.4.1	36,000	1,200	37,200	//	5,715	22,808	15	18,600	81.6
			32.7.1	37,200	1,200	38,400	//					
51	33	6	33.10.1	38,700	1,200	39,900	//	5,868	28,676	18	23,220	81.0
52	34	7	34.7.1	40,200	1,200	41,400	//	6,351	35,027	21	30,590	87.4
			34.10.1	42,140	1,200	43,340	//					
			35.1.1	43,700	1,200	44,900	//					
53	35	8	35.10.1	52,400	1,200	53,600	//	7,386	42,413	24	41,920	98.9
54	36	9	36.4.1	53,700	1,200	54,900	//	8,466	50,879	27	51,120	100.5
			36.10.1	56,800	1,200	58,000	//					
55	37	10	37.4.1	58,100	1,200	59,300	//	9,150	60,029	30	62,220	103.6
			37.10.1	60,900	1,200	62,100	//					
			38.1.1	62,200	1,200	63,400	//					
56	38	11	38.10.1	66,900	1,200	68,100	//	9,858	69,887	33	73,590	105.3
57	39	12	39.9.1	71,900	1,200	73,100	//	10,748	80,635	36	87,840	108.9
			39.10.1	73,200	1,200	74,400	//					

高額退職者1人の場合を例えにとってみると自己の掛金を超過した退職給付金を受けたこととなり互助会の本命とする家族医療給付、およびその他の給付は県補助金等の財源にまたねば収支相つぐなわれない実態で、県助成の増額を要望することを含めて互助会の再建策は焦眉の急をつけていることを明白にするものである。